

貧乏神様と福の神様



表紙 SAWAUCHI

vol. **102** February 2024

contents 目次

- 04 YOKOGAO 拝見
- 04 野菜歳時記
- 06 八戸えんぶりガイド 2024
- 10 ランチ情報
- 13 食育エッセイ
- 14 ショッピング情報
- 15 クーポン
- 22 歓送迎会特集
- 30 ビューティー & ヘルシー情報
- 32 タウンウォッチ
- 34 はちのへ TAKEOUT Gourmet
- 38 プレゼント

ホームページ公開中

パソコン
<http://www.webwell.jp>
ケイタイ
<http://www.webwell.jp/mobile/>



昔々あつたず。ある所に、たまげた口げんかする夫婦が居だつたず。ある日、お父が「なして、俺どさ、わらし出来ねべ？ほんにお前の痩せ貧乏な体だば、わらし出来る訳ないもな」と云つたず。したら、あつぱが「何よ、お前こそ貧乏たかりだべ。働きもしねでござる寝で食つて酒ばし呑んでえ、くやしがつたら働いで俺さ飯いっばい食へでけろ。へば丈夫なわらしこ産んでけらあ、貧乏だば乳も出ねべ」と、口げんかしていたず。

そしたら「ガラツ」と戸が開いて「はい、はい、わしを呼んでくれてありがと」って、よれよれの着物を着た年寄りが入つて来たず。

「お前、誰で？」ってお父が声荒げたら「はい、はい、わしは貧乏神だ。お前どが毎日毎日、貧乏、貧乏と、わしを呼ぶすけにこうして来たのだ」と云つたず。

さあ、大変。二人は貧乏神と聞いて

て追い出そうとしたずども、貧乏神様はひよいひよいと逃げて家の奥さ入つてしまつたず。

このざまにお父とあつぱは「貧乏、貧乏」とケンカしていた自分らを侮んだずもな。したども二人は貧乏神をなんとか追い出すことを考えることにしたず。家の中で相談すれば貧乏神様に聞かれるすけに働くふりして畑さ行つていろいろ考えだず。そしてある日、あつぱがこう言つたず。

「なあ、お父や、貧乏貧乏つて云つて、貧乏神様来たすけに、今度「福の神、福の神」と毎日云つたら福の神様も来るかも知れねよ。そうなれば、黙つていでも貧乏神様出て行く事になるべよ。」

「んだ、んだ。して、それから？」とお父は聞いたず。「うん、そこでよ、俺だち二人の呼び名を福の神にするべし」「俺はお父を『福の神様』って呼ぶすけにお父も俺のことを『福の神様』って呼ぶのよ。せば、毎日

いっばい福の神様を呼ぶことになるべ。どうだ？福の神様？」

「あつぱ、いや、福の神様、これはいい考えだ」と二人の相談はままとつたず。

さあ、それからずもの二人は「福の神様、畑さ行くべ」「あいあい、福の神様、腹へるすけ、大きいにぎり飯作つてけろ」って貧乏神に聞こえるようにこの夫婦は「福の神様」を連発したずもな。お父もあつぱも、福の神様と呼ばれる度に「にこつ」とした良い面こになつてしまふのだず。したすけ、口げんかすることもなくなつたし、お父もいつの間にか外さ出て働くようになったず。まあまあこうして月日が経つても福の神様がくる気配はながつたずども、二人は「福の神様」って呼び続けたず。

ところが、ある日とうとう福の神様が来たずもな。お父は大喜び「福の神様来た、福の神様来た、小っちゃい福の神様来た」って家中を叫びま

くつたず。この騒ぎに貧乏神様、奥から出て来たずもな。「なんど？福の神様来たつて？どこにいるど？」と云つたず。お父は喜んで寝床を指さしたず。見だきやなんと、あつぱの側に小っちゃい福の神様が「ほほぎやあ、ほほぎやあ」と泣いていだつたず。これを見た貧乏神様は「ほほう、これはめい福の神様だ」。そして、「これは、参つたな。この家に福の神様三人もいるんだば俺の居る所がないな。退散、退散」と家を出て行つたず。めでたし。めでたし。

したども、昔の人が云うように「貧乏、貧乏」と余り云うもんでねえず。貧乏神様が寄ってくるもんだず。どつとはれ

挿絵／久慈彩華

